

経済日誌2009年9月

注) 1DH(ディルハム)=約11.5 円

I. モロッコ国内経済

1. 指標等

①2008年公的債務残高の減少¹

2008年の国庫債務のGDP比は47.3%と2007年の53.5%より大きく減少した。対内債務は67億DHの減少。一方、対外債務は前年比で9.8%上昇した。対外債務に占める国庫債務の割合は51.2%。1998年は70.2%、2003年は62.6%と徐々に減少している。

- ▶2008年公的債務残高:3260億DH(前年:3298億DH)
- ▶2008年対内債務は前年より減少:2571億DH(前年:2638億DH)
- ▶2008年対外債務は前年より上昇:1340億DH(前年:1220億DH)

2. 建設・公共事業・インフラ等

①地中海道路 Ajdir—El Jebha区間開通²

地中海道路の Ajdir(Al Hoceima) — El Jebha 区間(103km、総工費16.5億DH)が開通。総工費の81%(13.4億DH)はEUからの無償資金協力、残りはモロッコ設備運輸省による出資。残りは EL Jebha — Tetouan 区間(120km、総工費23億DH)のみとなるが、本区間も2008年に着工されており、2012年に開通する予定。費用は、日本からの円借款とモロッコ設備運輸省による出資。

②アガディールリゾート計画³

アガディール北方30キロメートルに位置する Imi Ouaddar でCGIによるリゾート開発が11月から開始。ベッド数8000床、投資額4億DH。

¹ エコノミスト(9月15日)

² エコノミスト(9月10日)

³ エコノミスト(9月4日)

3. 農業・漁業

① Plan Maroc Vert「農業近代化計画」⁴

農業改革に関する計画である Plan Maroc Vert は、農業開発庁(ADA: Agence de développement agricole)設立で一步前進した。ADA は、農業開発に関するすべての分野についての研究を行い、政府に行動計画などを提出する機関。1500以上のプロジェクトを実施する予定で、このため10年で1470億DHが投資される予定。農作物への付加価値付与のための20のプロジェクト(投資額80億 DH)は既に承認された。バイオ燃料開発なども検討中。

② 2009－2010年農業・漁業省の行動計画⁵

2009－2010年農業省の行動計画は次の3本柱を中心に策定されている。1. 穀物生産の流れの改善:補助金などにより厳選した種子の利用を可能とし、生産性を向上させる。2. 灌漑管理:灌漑面積73%を対象に局所灌漑の整備を行い(55万ヘクタール)、2020年までに15億m³の水資源の節約に繋げる。3. 官民共同の農業投資:131のプロジェクトに77億DHの投資。

③Plan Halieutis「漁業近代化計画」⁶

29日、農業・漁業大臣は、国王臨席の下、持続性・パフォーマンス・競争力の3つをキーワードに16の計画を発表。農業分野に引き続き、漁業分野でも2020年までに近代化を図る。漁業分野は国際需要の減速で痛手を負っている分野。漁業のあり方を今一度考え、国際競争力をつけ、組織化していくことが不可欠になっている。陸揚げから流通までの流れを見直すことで、競争力を強化。同時に、生きた一次産品としての保存状態を見直し、国内需要を掘り起こし、世界の市場への食い込みを図る。モロッコの漁業が世界に占めるシェアは3.3%で2020年までには5.4%まで増加させる。

計画には、養殖業の開発(20億DHの投資)、資源量を管理するための魚種別資源量の把握・研究が行えるようなシステム構築、荷揚げ設備の更新、非正規雇用から正規雇用への雇用制度の見直しなどが含まれる。

2020年までの目標数値

	2007年	2020年	推移
GDP	83億DH	183億DH	+100億DH
直接雇用(漁船以外の加工・養殖関係者)	61,650人	115,000人	1.8倍

⁴ エコノミスト(9月10日)

⁵ ル・マタン(9月11日)

⁶ エコノミスト(9月30日、10月5日)

間接雇用	488, 500人	510, 200人	+21, 500人
非正規漁獲高	売上高の30% 以上に相当	売上高の15% 以下	半分に減少
輸出高	12億ドル	31億ドル	2. 6倍
漁業高	103万トン	166万トン	1. 6倍
モロッコ人の魚類消費 年間一人あたり	10～12kg	16kg	1. 5倍
資源量を管理する魚の 種類の割合	5%の種類	95%	+90%

(出所)エコノミスト(10月5日)

④ダムの貯水率⁷

ダムの貯水率が前年同期37. 4%からほぼ2倍の73. 4%に達した。貯水量としては114億m³(キャパシティー156億m³)に達した。この貯水量は、農業用水に加えて一部の都市部の必要飲料水の2～4年分に相当する。

4. 産業・エネルギー

①メーカー別新車販売状況(2009年1月～8月)⁸

完成輸入車、ノックダウン車含む販売数が減速。

	販売数(1～8月)	販売台数シェア	前年同期比
ルノー	11854	18. 39	0. 29
ダチア	11845	18. 37	14
プジョー	6676	10. 36	—19. 83
起亜	5125	7. 95	—21. 89
シトロエン	4151	6. 44	—5. 77
現代	4083	6. 33	2. 36
フォルクスワーゲン	3099	4. 81	0. 10
トヨタ	3073	4. 77	—31. 7
フォード	2760	4. 28	10. 49
フィアット	2262	3. 51	—12. 9
その他	9541	14. 79	

⁷ エコノミスト(9月18日)

⁸ オジヨデュイ・ル・マロック(9月2日)

合計	64469	—9. 67
----	-------	--------

②モロッコ燐鉱石公社(OCP)の8月までの業績⁹

モロッコ燐鉱石公社(OCP)の売上高が8月末で15億ドルに達した。これは2009年の売上高見込みの75%に相当する。

③炭化水素ストック戦略¹⁰

モロッコは炭化水素ストックを、現在の43日分から90日分とする目標を掲げているが、2010年までにまず60日分に増加させるべく、設備整備が行われている。モハメディアの拡張工事(キャパシティー10万m³、投資額3億DH)、マラケッシュのメナラ空港(トータル・シェールによる建設で2010年に完成予定。1800m³、5000万DH)、第1タンジェ地中海港(35万m³、13億DH)、カサブランカ空港(8000m³、Afriquia SMDC と Oilibya による)。その他には Jorf Lasfer や東ナドル地中海港で開発予定。

5. その他(金融など)

①ビジネスの行い易さランキング¹¹

世界銀行のレポート「Doing Business 2010」によれば、モロッコのランキングは世界183か国中2009年版における130位から128位へとやや改善。

- ・チュニジア:73位→69位
- ・トルコ:63位→73位
- ・エジプト:116位→106位
- ・モロッコ:130位→128位
- ・アルジェリア:134位→136位

②世界経済フォーラムが「世界競争力報告書」(The Global Competitiveness Report 2009-2010)を発表¹²

8日、世界経済フォーラムは「世界競争力報告書」を発表。各国の制度、インフラ設備、マクロ経済の安定性、民間企業等のパフォーマンスなどにより構成されている。モロッコの競争力ランキングは133か国中73位で前年と変わらず。1位はスイス、2位は米国、3位はシンガポールで日本は8位。なお、全文はwww.weforum.org, The Global Competitiveness Report 2009-2010 で入手可能。

⁹ エコノマップ(9月9日)

¹⁰ エコノミスト(9月9日)

¹¹ 世界銀行レポートDoing Business 2010

¹² エコノミスト(9月9日)

- ・チュニジア:36位→40位
- ・トルコ:63位→61位
- ・エジプト:81位→70位
- ・モロッコ:73位→73位
- ・アルジェリア:99位→83位

③今期のスペインのいちご収穫にモロッコ人雇用無し¹³

今期はスペイン人失業者を優先雇用するため、モロッコ人の季節労働への雇用はなし。いちごの収穫期になるとスペイン南部 Huelva 地方へ出稼ぎするモロッコ人の数は多い。今期は21, 000人をスペイン、東欧から確保する。

④タンジェでMarjane2店目オープン¹⁴

面積8ヘクタール、投資額1. 9億DHをかけて大型スーパーマーケット Marjane のタンジェ2号店がオープンした。2014年に拡張する予定。Marjane は今年に入り、フェズ、ナドールにも新店舗をオープンしている。

⑤ モロッコ郵政公社(Barid Al Maghrib)がAl Barid 銀行を開設¹⁵

モロッコ郵政公社の子会社として Al Barid 銀行が2010年第一四半期に開行予定。Barid Al Maghrib 総裁は、当初の顧客数は400万人で2015年には600万人まで増加するだろうと言及。銀行の開行は郵政公社の株式会社化の一環。同銀行開設により国民の銀行口座保有率が10%上昇し全体で40%を超えることを目指す。

⑥カサブランカ海岸沿いに複合施設Anfa Place計画¹⁶

内務省はカサブランカ海岸沿いにホテル・ショッピングセンター・ビジネスセンターからなる複合施設を建設する計画について、建設許可条件の調査委員会を立ち上げた。公式発表によると同計画に対しては、市民の生活に悪影響を及ぼすとの訴えがあったとしている。デベロッパーはスペイン系 Intervante 社で、すでに2億4000万ユーロを投資している。

¹³ エコノマップ(9月2日)

¹⁴ エコノマップ(9月14日)

¹⁵ エコノマップ(9月29日)

¹⁶ エコノミスト(9月22日)

II. 諸外国等との関係

1. 外国政府との関係

①モロッコ・韓国間協力(於:ラバト)¹⁷

モロッコ商工業・新技術大臣と韓国行政大臣がラバトで会談。情報技術の分野で協力することで合意した。

②モロッコ・米国間協力で合意(於:ウィーン)¹⁸

放射線・核の緊急事態に対して協力していくことで合意。モロッコが放射線・核の脅威に備えられるようにするもの。また両国はIAEA委員会の活動を発展させていくことでも合意した。

2. 外国企業との関係

①Médi Télécom (Méditel) が100%モロッコ企業に

スペイン系 Telefonía とポルトガル系 Portugal Telecom がそれぞれ Médi Telecom の株32.18% (合計64.36%)をCDGとFinanceCom に合計8億ユーロで売却。Méditelが100%モロッコ企業になった。売却までは Telefonía (32.18%)、Portugal Telecom (32.18%)、RMA Wataniya (13.06%)、FinanceCom (5%)、Holdco (Akwa Group と CDG、17.59%)だった。

②リゾート開発計画Azur 計画「Plage Blanche」開発計画のデベロッパー決定¹⁹

Azur 計画の一環である「Plage Blanche」開発計画のデベロッパーがエジプト系 Pickalbatros 社に決定。ホテルは二カ所に建設。面積は696ヘクタール。投資額115億DH、2000人の雇用創出を見込む。

(当館注:Azur 計画(6カ所のリゾート開発計画)のうちゲルミンにおける Plage Blanche 計画が策定されていたが、当初開発を請け負っていたスペイン系 Fadesa 社が2008年7月に倒産。その後代わりのデベロッパーが見つからず、計画は一時中断となっていた。)

③マラケッシュでのホテルリゾート開発²⁰

ア首連系 Jumeirah 社とモロッコ系 SGTM 不動産はマラケッシュにおいて共同でゴルフコース開発を含めたホテルリゾートを建設する計画に合意。Jumeirah Marrakech Golf & Polo Resort と命名。2013年1月にオープン予定で面積は177ヘクタール。

¹⁷ ル・マタン(9月1日)、エコノマップ(9月2日)

¹⁸ エコノマップ(9月16日)

¹⁹ エコノマップ(9月23日)

²⁰ エコノマップ(9月23日)